

令和 6 年度 事業報告

社会福祉法人 八幡福祉協会

全体事項

令和 6 年度も法人理念のもと、入居者・利用者の意向を尊重したサービスの提供を心掛け、事業運営を行ってまいりました。

世間では依然として様々な感染症の流行が見られております。前年は当施設でもクラスターが発生いたしましたが、今年度は入居者の体調変化の早期把握、疑わしい症状が見られた際の迅速な感染対策に努めた結果、クラスター等の発生はありませんでした。また、感染状況に配慮しつつ、入居者の精神的な安定のため、予約制での家族面会も継続して実施いたしました。今後も感染予防に細心の注意を払いながら、入居者が安心して生活できる環境の維持に努めてまいります。

人材育成

人材確保を重要課題と捉え、積極的に取り組んでおります。8 月の八幡市就職フェアでは介護職員 1 名を採用いたしました。技能実習生については、日本語能力・介護技術ともに向上した 1 期生 2 名が、指導者のサポートのもとサービスの質向上に貢献してくれました。12 月には 2 期生 2 名が就業を開始いたしました。さらに、10 月に採用を決定した 3 期生 2 名が令和 7 年 12 月に就業開始予定です。

今後も安定的な人材確保に取り組めます。

環境整備

事業継続計画(BCP)に基づき、災害対策を強化しました。非常用発電機を設置し、停電時でも 72 時間以上の電力供給を確保し、入居者の生活に必要な設備(空調、照明、医療機器等)を維持できる体制や福祉避難所として高齢者の方々の受け入れ体制を整備いたしました。また、定期的に避難訓練等を実施し、入居者の安全確保と職員の迅速な対応能力向上に取り組めました。今後も、地域の高齢者施設として、災害対策や感染症対策等に積極的に取り組み、入居者と地域の高齢者の安全を守れるよう努めます。

ICT 化の推進

入居者の安全確保と職員の負担軽減を図るため、ICT 化を積極的に推進いたしました。その一環として、補助金を活用し、全入居者のベッドに介護見守りロボットを導入いたしました。これにより、夜間帯をはじめとする見守りの強化と、それに伴う業務効率化に取り組めました。また、情報共有の迅速化と業務プロセスの効率化を図るため、Google Workspace を導入しました。今後も、職員が ICT ツールを効果的に活用で

きるよう、研修などを通じたスキル向上支援に継続的に取り組み、更なる ICT 活用を推進することで、より質の高いケアの提供と、働きやすい環境づくりを目指します。

財務状況

収入面は、特別養護老人ホームの利用率が改善したことにより、前年と比較して増収となりました。一方、短期入所生活介護(ショートステイ)・通所介護(デイサービス)においては、利用率が前年度を下回ったため、減収となりました。

支出面では、人件費が増加しております。これは、欠員補充のための職員採用や技能実習生の増員などが主な要因です。事業費および事務費支出につきましては、経費削減に努めた部分もあったものの、昨今の物価高騰による食材料費や消耗品費の増加、水道光熱費の高騰、緊急の修繕工事の発生、さらに技能実習生にかかる必要経費の発生などにより、全体として増額となりました。

今後も入居者・利用者様が安心して快適な生活を送れるよう努めるとともに、安定した事業運営を継続するため、人材と利用者の確保に尽力し、サービスの質の向上や地域貢献事業等に積極的に取り組み、地域に必要とされる社会福祉法人となることを目指します。

3. 役員会等の状況

① 評議員会の開催状況（評議員 7 名）

開催年月日	出席者数	審 議 内 容
令和 6 年 6 月 20 日	6 名 (監事 2 名)	① 令和 5 年度事業報告（案）について ② 令和 5 年度収支決算（案）について

② 理事会の開催状況（理事 6 名 監事 2 名）

開催年月日	出席者数	審 議 内 容
令和 6 年 5 月 28 日	5 名 (監事 2 名)	① 令和 5 年度事業報告（案）について ② 令和 5 年度収支決算（案）について ③ 運営規程の一部改正（案）について ④ 評議員選任・解任委員会の委員の選任（案）について ⑤ 次期評議員の選任候補者（案）について

令和 6 年 9 月 27 日	6 名 (監事 2 名)	① 嘱託および臨時職員就業規則の一部改正（案）について
令和 6 年 11 月 13 日	6 名 (監事 2 名)	① 令和 6 年度 中間報告
令和 7 年 3 月 18 日	6 名 (監事 2 名)	① 令和 6 年度収支予算補正（案）について ② 令和 7 年度事業計画（案）について ③ 令和 7 年度収支予算（案）について ④ 令和 7 年度の昇給率及び賞与支給月等(案)について ⑤ 継続雇用職員給与規程の一部改正（案）について ⑥ 育児・介護休業等に関する規程及び就業規則の一部改正（案）について ⑦ 運営規程の一部改正（案）について

③ 評議員選任・解任委員会の開催状況（委員 3 名）

開催年月日	出席者数	審 議 内 容
令和 6 年 6 月 27 日	3 名	① 退任に伴う評議員の選任（案）について

④ 監事監査の実施状況

令和 6 年 5 月 21 日、監事 2 名による監査を実施していただきました。その結果、事業報告は関連する法令及び通知に従い、当法人の事業の執行状況を正しく示し、適切に処理されていると認めていただきました。

4. その他の状況

① 衛生教育について（産業医講話）

年 月 日	参加人数	内容
令和 6 年 9 月 18 日	16 名	新型コロナウイルスについて
令和 7 年 3 月 19 日	13 名	看取りについて

② 職員健康診断等

年 月 日	検診内容	受診者数
令和 6 年 9 月 27 日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者（28 名）は、医療機関等にて実施	45 名
令和 6 年 11 月 21 日～12 月 9 日	職員インフルエンザ予防接種	50 名
令和 7 年 3 月 21 日	腰痛検診	17 名
令和 7 年 3 月 10 日～3 月 15 日	職員健康診断（夜勤業務従事者）	25 名

③ 消防訓練等の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
令和 6 年 10 月 25 日	14：30～	昼間訓練（消防署立会い）
令和 6 年 7 月 10 日	14：00～	緊急時における従業員安否確認訓練
令和 7 年 3 月 27 日	14：30～	夜間想定訓練（自主訓練）

各事業所の事業報告

施設サービス事業所

特別養護老人ホーム・（介護予防）短期入所生活介護事業

新型コロナウイルス感染症の流行は落ち着いてきていますが、重症化リスクの高い入居者への感染を防ぐための対策を継続しながら、コロナ前のような生活が送れるように日々のケアに取り組んでまいりました。ご家族との対面での面会につきましては、感染対策を徹底した上で継続いたしました。

また、入居者の方々の QOL 向上を図るため、感染状況に配慮しつつ、少しずつではありますがご家族との外出を再開いたしました。

介護現場では前年度に続き、ICT 機器を活用したケアの質の向上と職員の負担軽減に取り組みました。

その一環として、入居者の全ベッドへの見守りセンサー設置が完了したことで、入居者の状態をより詳細に把握し、バイタルサインの異常の早期発見や、より細やかなケアの提供ができるようになりました。また、夜間の不要な巡回頻度

を減らすことができ、職員の負担軽減にも繋がりました。

タブレット端末については、基本的な操作は習得できているものの、導入している介護ソフトの機能を十分に活用できていませんでした。その課題を克服するため、当該ソフトの提供会社との連携を開始し、当事業所の業務特性や具体的なニーズを共有しながら、共に最適な活用方法を検討していくための話し合いの機会を設けました。

インカムについては、技能実習生に円滑な業務遂行に必要な日本語での指示理解を早期に促すため、入職後速やかに当該システムの使用を開始してもらいました。その結果、口頭での指示伝達を迅速かつ的確に行えるようになり、技能実習生への的確な指示とスムーズな指導を可能にし、双方にとって効率的な業務遂行に繋がりました。今後も他の ICT 機器との連携を図ることで、更なる情報共有の効率化や、より質の高いケアの提供に繋げていく取り組みを進めてまいります。

終末期を迎えた入居者とそのご家族と一緒に過ごしていただくために設置したファミリールームは、2 組のご家族にご利用いただきました。最期の時間を一緒に過ごすことができたと大変喜んでくださいました。

入居者の方々が安心して過ごせる環境を維持するため、毎月の職員会議において、虐待・身体拘束防止についての動画視聴やグループワークを実施するなど、定期的な研修を行うことで適切なケアの提供に努めてまいりました。今後も研修を通じて、安全で安心できる生活環境の維持に努めてまいります。

技能実習生の 1 期生については、2 年目に入り夜勤業務まで行えるようになりました。日本語についても日常会話に全く問題がないレベルに達しており、日本語能力試験 3 級を取得した実習生もいます。介護技術にも磨きがかかり、入居者も安心して介助を受けています。また、12 月半ばには 2 期生 2 名が就業開始し、日本語と介護技術を習得するため、日々の業務に取り組んでいます。職員も実習生の成長する姿を見ることが喜びとなり、共に成長しています。

年度当初の利用率は前年度に発生した新型コロナウイルス感染症のクラスターの影響で低調でしたが、他の施設や医療機関との連携を強化し、新規入居者の獲得に努めたことで回復につながりました。しかし、前年度比では改善が見られたものの、制度改正などで以前と比較して利用料の負担が増えたことから、申込者が入居を断念されるケースも増加しており、利用率の安定には至りませんでした。

このような状況を踏まえ、引き続き入居希望者の多様なニーズに合わせた柔軟な対応を強化するとともに、他事業所との連携をより一層深めることで、利用率の安定化を目指してまいります。

短期入所につきましては、サービス需要の減少により今年度も利用率は低調に推移しました。そのような状況下においても、ご利用者様が可能な限り在宅生活を継続できるよう、個々の意思に寄り添ったケアを提供し、当事業所での時間を楽しくお過ごしいただけるよう努めてまいりました。また、八幡市からの緊急ショートステイの依頼にも対応し、3 名の方を受け入れました。そのうち 1 名は、ご本人の状態やご家族の状況などを総合的に判断し、在宅復帰が困難であると判断し、特別養護老人ホームへの入居となりました。今後も地域のセーフティネットとしての社会福祉法人の役割を果たせるよう、努めてまいります。

利用状況

○入居者入退所状況

退所者数 21 名（施設看取り 18 名）

新規入所者数 29 名（在宅 9 名 医療機関 12 名 老健 8 名）

特養 延人数 24,877 人 89.7% 定員 76 名（4 月 70 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
特養延数	1,865	2,081	1,998	2,104	2,111	2,020	2,171	2,061	2,132	2,148	1,969	2,217
利用率	88.8	88.3	87.6	89.3	89.6	88.6	92.1	90.4	90.5	91.2	92.5	94.1

短期入所生活介護 延人数 1,028 人 33.2% 定員 8 名（4 月 14 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
SS 延数	111	82	70	67	97	105	94	87	86	106	72	51
SS 利用率	26.4	33.1	29.1	27.0	39.1	43.8	37.9	36.2	34.7	42.7	32.1	20.6

（延数＝人・利用率＝％）

研修（実習）受入状況

今年度は京都八幡高校介護福祉課からの介護福祉士実習を受け入れる予定でしたが、生徒数の減少により、当事業所での実習実施には至りませんでした。
※施設見学会の開催は見送りました。

行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
4月2日	花見（ペランダにて）	12月23日	年忘れ会
8月30日	夏祭り	12月28日	もちつき
10月13日	運動会		

入居者検診状況

年 月 日	検診内容	受診者数
10月10日	胸部レントゲン撮影	53名
11月21日～12月9日	インフルエンザ予防接種	62名
10月21日	新型コロナウイルスワクチン接種	24名

在宅サービスセンター

（介護予防）通所介護事業所〔デイサービス〕

利用者の方々にとって居心地の良い空間と時間を提供するため、日々の業務に追われるだけにならないよう、お一人おひとりと丁寧に接し、その気持ちに寄り添う時間を大切にしてきました。また、より質の高いサービスを提供できるよう、毎月の会議で認知症や虐待、身体拘束といった重要なテーマについて勉強会を実施しました。加えて、BCP（業務継続計画）策定の一環として机上訓練や研修を行い、緊急時においても事業を継続できる体制づくりに努めてまいりました。

2月に実施いたしました満足度調査では、概ね利用者様にご満足いただけている結果となった一方で、レクリエーションについては更なる充実を求めるご要望をいただきました。この結果を真摯に受け止め、次年度の運営においては、より利用者様にご満足いただけるよう、レクリエーション内容の改善に取り組んでいきます。

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	25	27	26	26	26	26	26	26	26	24	25	26	309
延人数(人)	424	451	428	460	477	492	525	513	537	448	411	417	5,583
実人数(人)	50	48	49	47	51	53	53	53	56	54	53	49	615
平均利用者数(人)	17.0	16.7	16.5	17.7	18.3	18.9	20.2	19.7	20.7	18.7	16.4	16.0	18.1
利用率(%)	68.0	66.8	66.0	70.8	73.2	75.6	80.8	78.8	82.8	74.8	65.6	64.0	72.4

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数(日)	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	23	26	308
延人数(人)	438	486	472	484	486	475	520	494	448	410	379	441	5,533
実人数(人)	55	58	56	53	56	58	59	60	58	55	53	53	674
平均利用者数(人)	16.8	18.0	18.9	17.9	18.0	19.0	19.3	19.0	17.9	17.1	16.5	17.0	18.0
利用率(%)	67.2	72.0	75.6	71.6	72.0	76.0	77.2	76.0	71.6	68.4	66.0	68.0	72.0

行事名	実施期間	参加延人数
夏祭り	令和6年8月20日～8月22日	53名
運動会	令和6年10月15日～10月17日	59名
クリスマス会	令和6年12月23日～12月25日	54名
外出(コスモス)	令和6年10月21日～10月25日	22名
外出(紅葉)	令和6年11月22日～12月3日	39名

通所型サービスB事業（ぽかぽか庵）

地域における要支援の方々の閉じこもり予防と社会参加を目的とする「ぽかぽか庵」では、今年度も介護支援サポーターの皆様のご協力を賜り、サービスを提供してまいりました。

利用者の方々からは、「定期的に外出する良い機会となっている」「リハビリ体操で身体が楽になった」「参加者同士で楽しく会話しながら食事ができるので、毎回とても楽しみにしている」といった喜びの声を多数いただいております。

今年度、利用希望者の増加に対応するため定員枠を拡大いたしましたが、年度途中で登録者数が定員に達する盛況ぶりでありました。この状況を踏まえ、来年度はさらに定員枠を増やすことで、より多くの方々の閉じこもり予防と社会参加に貢献します。

年 度	開催回数	利用延人数	1回平均人数
令和5年度	102回	807人	7.9人
令和6年度	102回	865人	8.5人

居宅介護支援事業所

当法人は、利用者の皆様が住み慣れた八幡の地で、可能な限り在宅生活を継続できるよう、以下の取り組みを実施いたしました。

1. 法人内連携の強化

法人内の各事業所および専門職との間で、日常的な情報共有と密なコミュニケーションを図り、事業運営の円滑化に努めました。これにより、利用者様への迅速かつ適切なサービス提供体制を構築いたしました。

2. 地域連携の推進

地域包括支援センター、居宅サービス事業所、行政機関、その他関係機関との連携を強化いたしました。定期的な情報交換や情報提供を通じて、利用者様の生活の質および提供するサービスの質の向上に努めました。

年度	ケアプラン		ケアプラン（予防）	
	件数	月平均	件数	月平均
令和5年度	522件	43.5件	48件	4.0件
令和6年度	377件	31.4件	42件	3.5件

在宅介護支援センター

（八幡市受託業務内容）

八幡市の委託事業である配食サービス（昼食）について、希望者のアセスメント及び申請の支援を行い、安否確認を兼ねたお弁当のお届けを実施しました。また、委託事業の対象とならなかった方についても、必要性が高いと判断した場合は独自の配食サービス（昼食・夕食）を実施しました。

予防事業（はつらつ健康教室）につきましては、事業内容の充実を図るために通所介護事業所と連携を図り、計11回実施しました。

各種保健福祉サービスの種類、利用方法、手続き等に関する情報の提供と、要介護認定、住宅改修、福祉用具の購入等の申請代行を行いました。

相談業務実施状況

年 度	年 間	月平均	備考
令和5年度	27件	2.2件	
令和6年度	51件	4.25件	

訪問調査等実施状況

年 度	訪問調査件数	福祉用具購入 支援数	住宅改修 支援数
令和 5 年度	12 件	3 件	2 件
令和 6 年度	36 件	3 件	22 件

配食サービス関係

年 度	八幡市委託分 (昼食)	京都八勝館独自サービス (昼食・夕食)
令和 5 年度	3,300 人	700 食
令和 6 年度	2,883 人	414 食

介護予防事業開催状況（はつらつ健康教室）

年 度	開催回数	利用延べ人数	1 回平均人数
令和 5 年度	11 回	52 人	4.7 人
令和 6 年度	11 回	72 人	6.5 人

調理室

安定した食事提供を実現するため、令和 7 年 2 月よりクックチルシステムを導入し、調理の効率化と品質の安定化を図りました。さらに、季節ごとのイベント食や行事食を多数提供することで、食事のバリエーションを充実させ、入居者・利用者の皆様に食の楽しみを創出いたしました。

業務効率化を図るために計画していた調理室レイアウト変更は、令和 6 年度中の実施を見送りました。これは、本年度より導入したクックチルシステムによる食事提供方法の変更に対応するため、より適したレイアウトを検討する必要が生じたためです。しかしながら、令和 7 年度の実施に向けて引き続き準備を進めてまいります。

理事・監事・評議員等名簿

(令和7年3月31日現在)

役職名	氏 名	就任年月日
理事長	遠州 伸高	令和5年6月22日
業務執行理事	河本 直樹	〃
〃	中川 晶勝	〃
理事	佐々木 貴昭	〃
〃	藤井 さよ子	〃
〃	吉川 佳一	〃

役職名	氏 名	就任年月日
監事	大高 俊生	令和5年6月22日
〃	山本 政名	〃

役職名	氏 名	就任年月日 ※任期4年
評 議 員	北村 和夫	令和3年6月24日
〃	梶原 寛之	〃
〃	波田 容子	〃
〃	松田 千登勢	〃
〃	遊佐 勝彦	〃
〃	高桑 勝	令和6年6月27日
〃	林村 涼	〃